



認証番号 0013185

エコアクション21

環境経営レポート

2023年度版

(対象期間 2023年4月～2024年3月)



トランセンス株式会社

2024年 7月 発行

目 次

	ページ
1 環境経営方針	1
2 会社概要	2
3 エコアクション21の対象範囲	3
4 環境経営目標	4
5 環境経営計画	5
6 環境経営計画に基づき実施した取組内容	
6-1 エコアクション21の実施体制	6
6-2 環境経営計画に基づき実施した環境への取組	7～8
7 環境経営目標の実績	9
8 環境経営計画の取組結果とその評価	10～11
9 次年度の環境経営計画	12
10 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟などの有無	13
11 代表者による全体評価と見直しの結果	14

1 環境経営方針

経営理念

私たちは心の豊かさを追求し、
お客様、我が社に関わる全ての人たち、
地域社会の信頼にお応えします

環境経営方針

【基本方針】

トランセンス株式会社は、電気通信工事及び環境機器の事業活動の中で、環境問題への対応を重要課題とし、事業活動を地球環境及び地域環境改善に配慮して、快適な社会の実現を目指すと共に、地域社会の環境負荷低減に役立つサービス、製品を提供します。

【行動指針】

- 事業活動のすべての領域で、省資源、省エネルギー、ムダの排除に配慮した活動に取り組めます。
- 事業活動に適用される環境関連法規等を遵守します。
- エコアクション21を基に環境への取組を継続的に行い、地域社会から信頼される企業を目指します。
- 工事における騒音・振動・粉塵の発生抑制に努めます。

制定日 2024年4月15日

トランセンス株式会社

代表取締役

安齋 幸

2.会社概要

(1) 事業者及び代表者名

事業者名 トランセンス株式会社

代表者名 安齋 幸

(2) 所在地

〒321-0973 栃木県宇都宮市岩曾町31-2

(3) 事業内容

建設工事:電気工事業・電気通信工事業・環境機器

(4) 事業規模

売上高 699,405万円

従業員数 36名

敷地面積 586.2㎡

(5) 設立年月日 1973年5月1日

(6) 許可番号

電気工事業 栃木県知事許可(特-2)第7989号

電気通信工事業 栃木県知事許可(特-2)第7989号

造園工事業 栃木県知事許可(般-2)第7989号

日本CATV技術協会会員 第436号

全国交通信号工事技術普及協会会員 第21-1-003号

(7) 連絡先

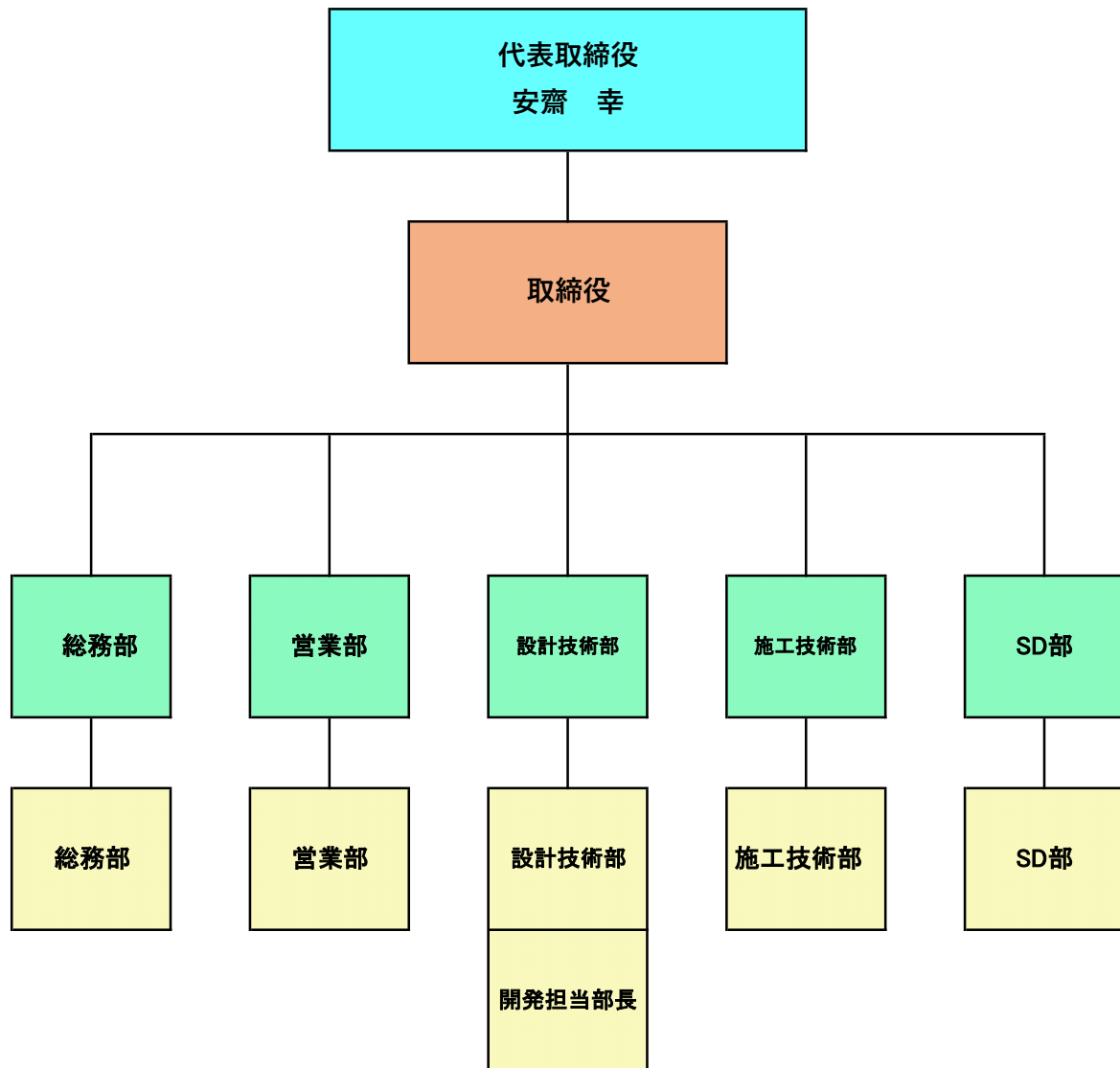
環境管理責任者 : 河野邊 広夢

TEL:028-621-4002 FAX:028-621-4094

E-mai : soumu@transcence.co.jp

3.エコアクション21の対象範囲

対象事業所 : 本社(25名)
対象事業活動 : 設計、開発、施工、営業、総務



4.環境経営目標

・環境経営方針の経営理念や行動指針を具現化するために、

以下に示す環境経営目標を策定しました。

・環境経営目標は中期目標の2023年度を適用し、2021年度環境負荷の実績を基準年に

6項目10目標を設定し、当社の最大環境負荷である二酸化炭素排出量については

2023年度は基準年の3%削減を目標

環境経営目標		基準年	実績	実績	目標	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		2021.4～2022.4	2022.4～2023.4	2023.4～2024.3	2024.4～2025.3	2025.4～2026.3
二酸化炭素に 関係する項目	電気使用量	42,789.00	42,599.00	基準年-3% 42,463	基準年-3%	基準年-5%
	(単位:kWh)			41,563.00	41,505.33	40,649.55
	ガソリン使用量	5,638.31	7262.12	基準年-3% 9,637	基準年-3%	基準年-5%
	(単位:リットル)			5,469.16	5,469.16	5,187.25
	軽油使用量	9,584.02	12,169.21	基準年-3% 6,668	基準年-3%	基準年-5%
	(単位:リットル)			9,296.50	9,296.50	8,817.30
	二酸化炭素総排出量	67,662.98	67,715.18	基準年-3% 56,129	基準年-3%	基準年-5%
	(単位:kg-CO2)			65,633.09	65,633.09	62,249.94
廃棄物削減に 関係する項目	一般廃棄物	650.00	384.00	維持 384.00	維持	維持
	(単位:kg)				384.00	384.00
	産業廃棄物	5,880.00	6,287.10	基準年-3% 13,743	基準年-3%	基準年-5%
	(単位:kg)			5,703.60	5,703.60	5,586.00
水使用量削減		307.00	311.00	維持 263	基準年-3%	基準年-5%
(単位:m ³)				300以下	297.79	295.45
社会貢献の推進		—	全社員が実施	全社員が実施	全社員が実施	全社員が実施

備考 * ()内は基準年に対する削減率を示す。

*年度は実績把握の期間とし、年度の実績から大きく差異があった場合は基準の見直しを行う。

*二酸化炭素排出 東京電力㈱2021年度調整後排出係数0.441CO2/kwh

ガソリン0.0183、灯油0.0185、軽油0.0187、LPG0.0163を使用

*化学物質は自社での使用実績がないため目標から除外した。

関係業者が使用する場合はSDS(安全データシート)の提出にて適正管理を実施している。

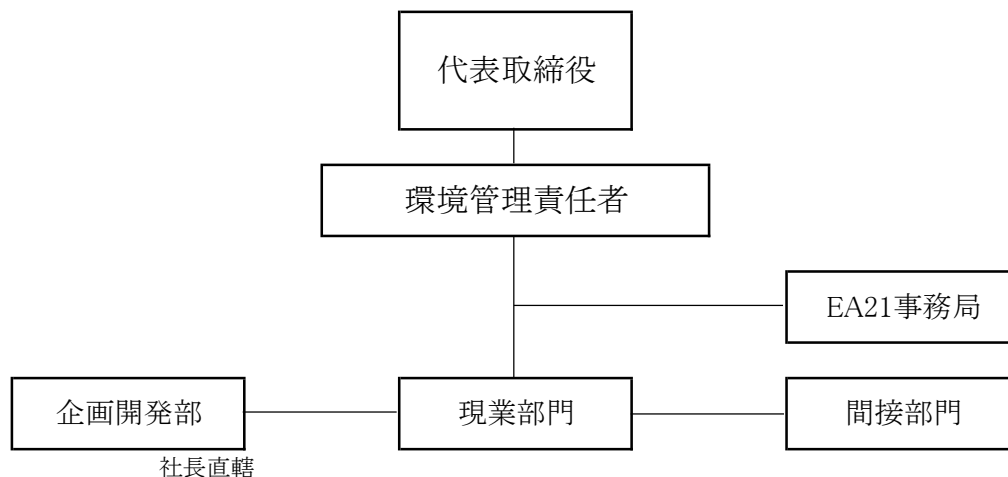
5 環境経営計画

- ・環境経営目標を達成するために、2023年度は次のような環境活動を実施しました。

環境経営目標	取組目標	主要活動項目
二酸化炭素 総排出量 削減	電気使用量3%削減	昼休み消灯 エアコン温度設定・調節（冷房28℃・暖房20℃） 退社時に各エリアの照明・冷暖房の管理 温度適正化の表示・設備使用後はスイッチOFF OA機器は省電力に設定する タイマーの利用・扇風機で空調の工夫 空調フィルターの清掃を行う（2ヶ月に1回）
	ガソリン・軽油使用量の把握	定期点検の実施 効率的な営業ルートの実践 不要なスピードは出さない 急発進・急停止を避ける 定期点検の実施 不必要な荷物は積みこまない 適正ルートの選択 不要なスピードは出さない 急発進・急停止を避ける 忘れ物をなくし折り返し運転をなくす
廃棄物 排出量削減	一般廃棄物排出量の削減	ミスコピーの削減・無駄なプリントアウトの禁止 書類のデータでのやりとり推進 印刷不要なFAX用紙削減
	産業廃棄物排出量の削減	材料の適正処理 分別の徹底・各自のゴミ箱複数化 不良在庫が発生しないような在庫管理 梱包材の再利用 廃棄量を周知 再生紙品・詰替え商品を購入
水使用量 削減	水使用御量の削減	水使用量・節水の呼びかけ 漏水がないかの確認（水道使用量のお知らせにて） 蛇口の点検（水の出っぱなしがないか）・自家水の推奨
社会貢献 推進	社会貢献の推進	エコキャップ回収活動

6.環境経営計画に基づき実施した取り組み内容

6-1エコアクション21の実施体制



所属	役割・責任・権限
代表取締役	・環境管理責任者を任命する ・環境経営方針を制定する ・推進に必要な要員、技術、資金等を準備する ・環境経営システムに必要な文書類を承認する ・環境経営システムの全体の評価と見直しを行う
環境管理責任者	・環境経営システムの取り組みの実行責任者として活動を推進する ・環境目標及び活動計画を策定し、社長の承認を得る ・事務局が行った環境目標及び活動計画の達成状況や実施状況の結果を社長に報告する ・環境関連法規の取りまとめ、最新チェック及び遵守状況の確認をする ・外部からの苦情や要望を受け付ける窓口 ・代表者による全体の評価と見直しのための情報を報告する
部門責任者	・部門ごとの活動計画を策定し、達成状況、実施状況を把握し、環境管理責任者に報告する ・部門ごとの教育訓練の実施リーダー
社員	・活動計画の担当者として実行する ・システムで定めたルール、取り組み事項を自発的、積極的に実施する
EA21事務局	・環境への負荷及び取組の自己チェックの実施リーダー ・環境目標及び活動計画の達成状況や実施状況の確認と評価を行う ・文書、記録を管理する

6.環境経営計画に基づき実施した取り組み内容

6-2 環境経営計画に基づき実施した環境への取組

*SDGsや2050年カーボンニュートラル等、地球規模の課題解決に向けた取組の社会的要請が強まっており、これらは今後の事業活動を継続・発展させるうえで事業者の重要な責務と考えております、

*今年度は、環境経営計画に基づき以下の取組をSDGs(17のゴール)と紐づけて実施しました。



1.二酸化炭素排出量の削減



*本社事務所の室温は、冷房期28℃、暖房期20℃と冷暖房機の設定温度を調整しました。

*不要な照明の消灯・昼休み時の消灯、夜間の主電源OFFを実施しました。

*月に1度、電気使用量を全体メールでお知らせし節電意識を共有しました。



	2022年度	2023年度	2022年度	2023年度	前年との差	前年との差
	総消費 (kWh)	総消費 (kWh)	電力 (kWh)	電力 (kWh)	電力 (kWh)	電力 (kWh)
4月	3,342	3,021	84,347	106,697	▲22,350	22,340
5月	2,786	2,841	71,848	94,222	▲22,374	22,374
6月	3,371	3,582	89,789	98,818	▲9,029	9,029
7月	2,782	4,026	105,055	112,498	▲7,443	7,443
8月	4,079	4,071	119,405	111,878	▲7,527	7,527
9月	3,354	3,401	105,433	104,697	▲736	736
10月	3,534	2,811	119,159	90,789	▲28,370	28,370
11月	3,171	2,984	108,787	95,168	▲13,619	13,619
12月	3,561	4,547	118,962	159,189	▲40,227	40,227
1月	3,428	4,218	137,595	118,784	▲18,811	18,811
2月	3,458	3,782	108,840	109,688	▲848	848
3月	3,391	3,893	89,052	118,931	▲29,879	29,879
合計	42,899	58,953	1,071,719	1,186,931	▲115,212	115,212



2.燃料(ガソリン・軽油)使用量の削減



*エコドライブを実施しています。

*社有車(低燃費車)を積極的に利用しています。



3.水使用量の削減

*啓発ポスター等を使って日常的に節水活動を行いました。

*水道利用量・料金を全体メールにて周知しました。



4.社会貢献の促進取組

*地域貢献活動(地域ボランティア活動)への参加

～古紙回収・エコキャップ回収・使用済切手回収～



7. 環境経営計画の実績

*2023年度運用期間中の環境経営目標に対する実績は次の通りであり、
設定した6項目10目標のうち3目標が未達となったが、
二酸化炭素排出量(kg-CO2)排出量を含めた5項目目標において
目標達成ができました。

環境経営目標	単位	基準年	2023年度 (2023.4～2024.3)		目標 達成率	達成 状況 評価
		2021年度 実績値	目標	実績		
①二酸化炭素排出抑制	(kg-CO2)	67,662.98	65,633.09	64,638.07	102%	○
(1) 電気使用量の削減	kWh	42,789.00	41,505.33	42,463.00	98%	△
(2) ガソリン使用量の削減	L	5,638.31	5,469.16	9,637.00	57%	×
(3) 軽油使用量の削減	L	9,584.02	9,296.50	6,668.00	139%	◎
(4) 液化石油ガス(LPG)使用量の削減	m³	63.00	56.00	44.00	127%	◎
②廃棄物排出抑制に関する項目						
(1) 一般廃棄物排出量	kg	384.00	384.00	384.00	100%	○
(2) 産業廃棄物排出量	kg	5,562.00	5,500.00	13,743.00	40%	×
③水使用量	m³	379.00	379.00	263.00	144%	◎
④社会貢献の推進	人	—	27.00	27.00	100%	○

備考)・達成状況の評価区分 ◎:120%≦目標達成率 ○:100%≦目標達成率<120%

△:80%≦目標達成率<100% ×:目標達成率<80% —:判定不可

・目標達成率の計算 削減目標の場合:目標÷実績×100
増加目標の場合:実績÷目標×100

8.環境経営計画の取組結果とその評価

*環境経営計画の取組結果とその評価は次のとおりで、取組は適切に実施されました。

備考) ・達成状況の評価区分 ◎: 120% ≦ 目標達成率 ○: 100% ≦ 目標達成率 < 120%

△: 80% ≦ 目標達成率 < 100% ×: 目標達成率 < 80% —: 判定不可

・取組実施状況区分 ◎: 定着 ○: 実施されている △: ほぼ実施されている ×: 実施されていない —: 判定不可

(1) 二酸化炭素排出量の削減

*電気使用量は使用していないエリアの消灯などが徹底され、節電意識の向上による有効性が確認された。

*ガソリン使用量は、遠方の現場が多かったため目標未達だった。

今後はエコ運転の呼びかけを徹底して使用量の削減に努める、

*軽油の使用量の把握は引続き行う。

No.	環境経営目標	取組目標	目標達成状況	主要活動項目	取組実施状況
1	二酸化炭素排出量削減	(1) 電気使用量 3%削減	△	昼休み消灯	◎
				エアコン温度設定・調節(冷房28℃・暖房20℃)	
				退社時に各エリアの照明・冷暖房の管理	
				温度適正化の表示・設備使用後はスイッチOFF	
				パソコンなどのOA機器は省電力に設定する	
		(2) ガソリン使用量 3%削減 (3) 軽油使用量の把握	×	定期点検の実施	○
				不必要な荷物は積みこまない	
				適正ルートを選択	
				不要なスピードは出さない	
				急発進・急停止を避ける	
				忘れ物をなくし折り返し運転をなくす	

(2) 廃棄物排出量の削減

*廃棄物の分別を徹底することで、一般廃棄物の排出量を削減することができました。

*産業廃棄物のマニフェスト管理は確実に実行されました。

No.	環境経営目標	取組目標	目標達成状況	主要活動項目	取組実施状況
2	産業廃棄物排出量削減	(1) 一般廃棄物 (可燃ごみ) 排出量削減	○	必要に応じての裏紙の再利用推進	◎
				両面印刷推進	
				ミスコピーの削減・無駄なプリントアウトの禁止	
				書類のデータでのやりとり推進	
				印刷不要なFAX用紙削減	
		(2) 産業廃棄物 排出量の削減	×	材料の適正処理	○
				分別の徹底・各自のゴミ箱複数化	
				不良在庫が発生しないような在庫管理	
				梱包材の再利用	
				廃棄量を周知	
				再生紙品・詰替え商品を購入	

(3) 水道使用量の削減

*節水活動を呼びかけることで、水の使用量を削減し目標値を達成することができた。
次年度も目標値を達成できるよう、引続き節水活動を呼びかける。

No.	環境経営目標	取組目標	目標 達成 状況	主要活動項目	取組 実施 状況
3	水使用量 削減	(1) 水道使用量の削減	◎	水使用量・節水の呼びかけ	◎
				漏水がないかの確認(水道使用量のお知らせにて)	
				蛇口の点検(水の出しっぱなしがないか)	

(4) 社会貢献の促進

No.	環境経営目標	取組目標	目標 達成 状況	主要活動項目	取組 実施 状況
6	社会貢献 推進	(1) 地域ボランティア活動	◎	エコキャップ回収	◎
				使用済み切手回収	

9.次年度の環境経営計画

No.	環境経営目標	取組目標	主要活動項目
1	二酸化炭素 排出量 削減	(1) 電気使用量 3%削減	昼休み消灯 エアコン温度設定・調節(冷房28℃・暖房20℃) 退社時に各エリアの照明・冷暖房の管理 温度適正化の表示・設備使用後はスイッチOFF パソコンなどのOA機器は省電力に設定する
		(2) ガソリン使用量 3%削減 (3) 軽油使用量の把握	定期点検の実施 不必要な荷物は積みこまない 適正ルートを選択 不要なスピードは出さない 急発進・急停止を避ける 忘れ物をなくし折り返し運転をなくす
2	産業廃棄物 排出量 削減	(1) 一般廃棄物 (可燃ごみ) 排出量削減	必要に応じての裏紙の再利用推進 両面印刷推進 ミスコピーの削減・無駄なプリントアウトの禁止 書類のデータでのやりとり推進 印刷不要なFAX用紙削減
		(2) 産業廃棄物 排出量の削減	材料の適正処理 分別の徹底・各自のゴミ箱複数化 不良在庫が発生しないような在庫管理 梱包材の再利用 廃棄量を周知 再生紙品・詰替え商品を購入
3	水使用量 削減	(1) 水道使用量の削減	水使用量・節水の呼びかけ 漏水がないかの確認(水道使用量のお知らせにて) 蛇口の点検(水の出っぱなしがないか)
4	社会貢献 推進	(1) 地域ボランティア活動	エコキャップ回収 使用済み切手回収

9. 環境関連法などの遵守状況の確認及び 評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

10-1: 環境関連法規

法令等の名称	対象施設/設備/業務等	主要要求事項
廃棄物処理法	産業廃棄物排出業者	・委託契約の締結 ・マニフェストの発行 ・マニフェストの保管 ・マニフェストの返送管理 ・保管基準の遵守(表示・容量・3S) ・マニフェスト交付状況報告 ・水銀使用製品産業廃棄物
	一般廃棄物(可燃ごみ)	・分別の徹底 ・計量の実施
フロン排出抑制法	業務用エアコン 3.0キロワット:1台 1.95キロワット:2台 5.80キロワット:2台 4.30キロワット:1台	・簡易点検及び記録
下水道法		・有害な物を流さない(油等)
家電リサイクル法	冷蔵庫、洗濯機、エアコン	・適正な引渡し
建設リサイクル法	一定規模以上の建設工事の 発注者または施工者	・再資源化等の必要な建設資材 コンクリート、コンクリート及び 鉄からなる建設資材, 木材、アスファルト・コンクリート
消防法	灯油:180L未満で管理(非該当)	・貯蔵、取扱所等の設置等の許可を要す

10-2: 違反、訴訟などの有無

2024年6月30日に遵守評価を行った結果、違反はありません。

なお関係当局より違反等の指摘も、過去5年間ありません。

また、訴訟等も創業以来1件もありません。

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日:2024年 7月

項目		指示事項(アウトプット)、コメント
総合コメント		2020.11.17の認証取得以来、様々な取り組みに対応し、環境目標のうち6項目を達成していることは立派です。 未達成の事業項目を全員の協力で達成することを願っています。 行動計画への実践を更に高め、個人の行動が習慣化する迄励み、最終目標である脱炭素社会の実現、そして又、SDGsの取り組み企業としての活動に全社員が意識を傾注して下さる事を期待しています。
1	経営方針	変更の必要はない。
2	環境経営目標及び環境経営計画	未達成項目に関しては、次年度は目標達成できるよう、一人ひとりが取組内容を理解し行動に移していく。
3	実施体制	現状の組織で運営することで、変更の必要はない。
4	法令遵守	環境関連法規については遵守されているので、変更の必要はない。
5	施設・設備・作業環境の改善	分別処理が一部に於いて、実行されていない。 周知徹底する為、各部門への改善指示を。